小学校　第５学年　　「家庭科」 シラバス　　広島市立落合東小学校

５年生の学習到達目標

(1)衣食住や家族の生活などに関する実践的・体験的な活動を通して，家庭生活を支えているものが分かり，家庭生活の大切さに気付くようにする。
(2)製作や調理など日常生活に必要な基礎的な技能を身に付け，自分の身の回りの生活に活用できるようにする。
(3)自分と家族などとのかかわりを考えて実践する喜びを味わい，家庭生活をよりよくしようとする態度を育てる。

５年生の学習内容

学期	学　習　の　ね　ら　い	単　元　名	学　習　内　容
1学期	・自分の生活をふり返るとともに家庭や家族の仕事への関心を高めます。 ・家族の一員として家庭の仕事を分担、協力しようとする態度を育てます。	１どのように生活しているかな	・一日の生活の中で、家族や自分がしている仕事を発表したり、自分が家庭の中でできることを考えて実行計画を立てます。
	・調理に関心をもち、食品や用具を衛生的に安全に使って野菜サラダを作ることができるようにします。 ・小物などに関心をもち、用具の安全な使い方がわかり、針と糸で簡単な縫い方ができるようにします。	２わたしにできることは	・野菜サラダ作りの材料と作り方を調べ、実習計画を立て、実習します。 ・玉結び、玉どめ、一針ずつの縫い方、ボタンのつけ方を調べ、自分の作りたい小物を製作します。
2学期	・ミシンの安全な使い方がわかり、直線縫いができるようにします。 ・製作する喜びを味わい、生活に生かすことができるようにします。	１作って楽しく使おう	・ミシンぬいのしかたを調べて、練習をします。 ・自分の作る作品を計画に従って、ミシンぬいや手ぬいで製作します。
	・毎日の食事や食事に使われている食品に関心をもち、食品を組み合わせてバランスよく食べることができるようにします。 ・ごはんとみそ汁を作ることができるようにします。 ・食品の栄養的な特徴や体内でのおもなはたらきがわかるようにします。	２作っておいしく食べよう	・毎日の食事について調べ、どのような料理の組み合わせで食べているか話し合います。 ・ごはんとみそ汁の作り方を調べて、実習計画を立て、実習します。 ・なぜ食事をするのか話し合ったり、どうしていろいろな食品を食べているのか考えたりします。
3学期	・身の回りの汚れを調べ、工夫して掃除ができるようにします。	１身の回りを気持ちよく	・家庭科室や教室などのよごれ調べをしてクリーン作戦を立て、実行します。
	・住まい方に関心をもち、住まい方での工夫や問題点に気づくようにします。	２快適な住まい方のくふう	・家の住まい方で感じていることから、もっと快適に住まうためにくふうすることはないか話し合います。

５年生の評価

○家庭科では、**「家庭生活への関心・意欲・態度」「生活を創意工夫する能力」「生活の技能」「家庭生活についての知識・理解」**の四つの観点で評価します。

家庭生活への関心・意欲・態度	生活を創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての知識・理解
衣食住や家族の生活について関心をもち、家	衣食住や家族の生活について見直し、課題を見付	生活的な自立の基礎として必要な衣食住や家	家庭生活を支えているものや大切さを理解し、

族の一員として、家庭生活をよりよくするために進んで取り組み実践しようとする。	け、その解決を目指して、家庭生活をよりよくするために考えたり自分なりに工夫したりする。	族の生活に関する基礎的な技能を身に付けている。	衣食住や家族の生活に関する基礎的な知識を身に付けている。
○次のような方法で見ていきます。			
ワークシート・実習・作品・テスト			

おうちの方へお願い

家庭科の学習は、机の上で知識を得るだけでは意味がありません。児童が、生活者として自らの生活を見つめ直し、習得した知識や技能を家庭生活に生かしていこうとすることが大切です。家族の一員として、家庭生活をよりよくしようと工夫したり実践したりする機会をたくさん与えていただければと思います。